

榎本秋村 （たのむと しゅうた） 評論家、翻譯家。明治十四年二月二十一日秋田縣湯澤生れ、昭和十一年二月一日歿（八八一―一九三七）。本名恒太郎。筆名秋野村夫。東京專門學校卒。大正九年參謀本部翻譯官、また宗翁會編輯幹事も務めた。著譯書五十餘冊に及ぶといふ（龍島互調査）。

著書 『秋 （あき） 文名蹟々』（合著・青柳有美編、明治四十一年八月八日

秋田・大島商會）、『偉人の家庭』（大正三年四月十五日實業之日本

社）、『（た）文化實業の青年へ』（大正十一年四月二十日朝野書店）等。

譯書に、タノト著『（た）經國策』（明治四十一年一月二十五日内外出版協

會）、『（た）トルストイの教訓 （た）及び （た）自敘傳』（譯編、明治四十一年六月一

十五日内外出版協會）、『（た）ルツソオ瞑想錄』（大正四年九月十五日

東堂書店）、『（た）ルツソオ斷腸錄』（大正六年二月二十八日誠之堂書

店）、『（た）ソラ作 （た）沐浴』（大正十一年七月十五日天祐社）等。

